

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和5年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】			
整備箇所	最上郡金山町大字飛森外 地内		事業主体	金山町森林組合
整備面積	25.00ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	21～38年生 当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。			



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】			
整備箇所	最上郡最上町大字富澤 地内		事業主体	最上広域森林組合
整備面積	40.78ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	30～62年生 当該箇所は、県内有数の森林資源を有する地域であるが、下刈り等の手入れがあまり行われず、長期にわたり放置された林分も見受けられた。 このため、本事業を活用しながら、適正な立木密度となるように間伐を行い、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、森林作業道を開設し間伐材の有効活用も行った。			



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和5年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	里山林整備 【 森林景観整備 】				
整備箇所	最上郡金山町大字飛森 地内			事業主体	金山町
整備面積	3.20ha	樹種	アカマツ	林齢	50~85年生
整備内容	<p>当該箇所は、アカマツと広葉樹の林であるが、枯損木の増加により荒廃し、天然更新が難しい状態であった。</p> <p>このため、本事業により枯死木や枯死に瀕した病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、下層植生及び高木性広葉樹の生育を確保し、荒廃した里山林の健全化と居住環境の保全を図った森林となることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 (間伐・下刈) 】				
整備箇所	最上郡最上町大字月楯 地内			事業主体	最上町
整備面積	0.26ha	樹種	スギ	林齢	40年生
整備内容	<p>最上町では、これまで下刈り、抜き切り等の整備を殆ど行っていなかったため、立木の成立本数も多く、過密状態であった。</p> <p>林内が暗く、猿やイノシシ等の野生動物が身を隠す空間となり、田畑及び住宅周辺に出没することが多々あり、農作物被害に悩まされている。このことから、当事業を活用して、人と動物との共存を図る森林緩衝帯（バッファゾーン）の整備を実施した。</p> <p>これまで整備した箇所での効果として、野生鳥獣による被害の軽減や目撃情報の減少などの意見が寄せられている。</p>				



整備前



整備後